

東京クリニック

医薬品情報

TEL 03-5287-5532

Web <http://www.tokyo-clinic.jp>

Mail info@tokyo-clinic.jp

※※2000年9月改訂(第2版、自主改訂)

※1998年10月改訂(新様式第1版)

貯法：しゃ光・気密容器
使用期限：容器、外箱に表示
注意：取扱い上の注意参照

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	(56AM)9
薬価収載	1984年6月
販売開始	1984年8月

■ 501 ■

漢方製剤

ツムラ紫雲膏

【禁忌(次の場合には使用しないこと)】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
 2. 重度(重症)の熱傷・外傷のある患者
 3. 化膿性の創傷で高熱のある患者
 4. 患部の湿潤やただれのひどい患者
- [2～4：これらの症状が悪化するおそれがある。]

【文献請求先】

株式会社ツムラ 商品情報センター
東京都千代田区二番町12番地7 〒102-8422

【組成・性状】

組 成	本品100g中 日局ゴマ油……………100.0g 日局トウキ……………10.0g 日局シコン……………10.0g 上記の割合で得た油製エキス71.2gと 日局サランミソロウ……………27.0g 日局豚脂……………1.8g を含有する。	
	添加物	なし
性 状	剤 形	軟膏剤
	色	赤紫色
	におい	特異なにおい
	識別コード	ツムラー501

【効能又は効果】

火傷、痔核による疼痛、肛門裂傷

【用法及び用量】

外用

患部を清潔にしたのち、1日数回適量を直接患部に塗布、あるいはガーゼにのぼして貼付する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
2. 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。
過敏症：皮膚又は局所に発疹、掻痒等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。
- ※3. 小児等への投与
小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]
4. 適用上の注意
投与部位：目には使用しないこと。

【薬効薬理】

※※創傷治癒促進作用

- (1)第3度熱傷受傷マウスに塗布したところ、表皮再生が促進した¹⁾。
- (2)皮膚全層を円形に部分切除したラットに塗布したところ、表皮形成が促進した²⁾。

【取扱い上の注意】

衣類に付着すると赤紫色に着色し、脱色しにくいので、注意すること。

【包 装】

500g

【主要文献】

- ※※1)平 馬 直 樹・他：和漢医薬学会誌, 3 (3)370(1986)
※※2)高 野 邦 夫・他：Prog. Med., 16 (4)1200(1996)

